

災害時要援護者の避難支援ガイドライン(概要) (案)

<平成17年3月策定版>

課題1 情報伝達体制の整備

対策: 避難準備情報の発令、災害時要援護者支援班の設置 等

課題2 災害時要援護者情報の共有

対策: 同意・手上げ・共有情報方式による要援護者情報の収集・共有 等

課題3 災害時要援護者の避難支援計画の具体化

対策: 要援護者一人ひとりの避難支援プランの策定 等

「災害時要援護者の避難対策に関する検討会」での検討

<平成18年改訂版>

課題1 情報伝達体制の整備

対策: インターネット、災害用伝言ダイヤル等、多様な手段の活用による通信の確保 等

充実

課題2 災害時要援護者情報の共有

対策: 共有情報方式(個人情報目的外利用・第三者提供)の積極的活用 等

充実

課題3 災害時要援護者の避難支援計画の具体化

対策: 防災に強いまちづくりの重要性の明確化 等

充実

課題4 避難所における支援

対策: 避難所における要援護者用窓口の設置、福祉避難所の設置・活用の促進 等

新規

課題5 関係機関等との連携

対策: 福祉サービスの継続(BCP)、保健師・看護師等の広域的な応援、避難支援関係者連絡会議(仮称)の設置 等

新規